



宇宙特急便



運送屋・運ちゃんと呼ばれてどう感じる？

「雲助・かご掻き(かき)」。江戸時代、旅人を駕籠に乗せて担ぐ人のことを言っていた。運賃(酒手・さかて)を弾めば機嫌よく運んでくれるが、気に入らないと山中で「ヤイヤイ俺たちをなんだと思ってやがるんだ」と脅し金を巻き上げたと言う。手紙や品物を運ぶ飛脚は信用はあるが体力とキップの良さだけで商売っ気は薄い。土農工商層になり職種でもある。昔、年配の荷主様に意見具申すると目前で運送屋風情(ふぜい)が何を生意気な！と罵倒された。営業も白ナンバーも素人には分からないし行儀の悪いドライバーも時折いる。印象的なイントロで始まる映画「トラック野郎」の影響か運ちゃんイメージだ。物流は経済の大動脈と言われリスペクト先には海運・航空・鉄道業界がある。マスコミ密着の泥臭・悲惨・同情ルポでは陸運業への偏見は変わらない。



思いがけないトイレ掃除に感謝感激

O君・U君、H社に移籍

小便器受皿にこびりついた黒ずみや尿石の汚れがいつのまにかキレイになった。

事務のふたりが数週間かけゴム手袋でコツコツ作業をしてくれたのだ。

我々も掃除をしてきたつもりだったが・・・改めてトイレ掃除に目を覚ます思いだ。

ありがとうございます。



20年近い取引のあったH社から撤収した。1次下請運賃交渉の膠着と管理上の問題が長い間の懸案だった。

しかしとても誠実な取引先様だったと思う。担当ドライバーのK.O君、J.U君2名はH社に転籍。

H社とは今後も新たな機会を求めて話し合いを続ける。



ルーキー物流マン T.S(39)

挑戦意欲の強い人。
ハキハキした物言いが性格を物語る。
昨年春から家具類の配送組立の派遣助手だったが、この夏当社への入社を決断した。

飲食業界が長くお客様目線で仕事ができると思う。
職種はお客様の目に晒される。細やかな心遣いに期待したい。
「前向きに生きる」彼の言動から感じる信念である。

平塚市在住。職住間がめちゃくちゃ近い。
会社まで徒歩5分を原付バイクで通勤・・・。

今月のひとこと

失敗とは・・・何もやらなかったことか、やったけれども一生懸命やらなかったことが失敗。(ジャパンネットたかた 創業者 高田 明)

